

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公開番号】特開2014-45933(P2014-45933A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-190945(P2012-190945)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

計測部位を有するセンサと、

前記センサを覆うチューブ体と、を備え、

前記チューブ体は、前記センサの計測部位より基端側に形成された基端側閉塞壁と、前記センサの計測部位より先端側に形成された先端側閉塞壁と、前記センサの前記計測部位に血流を流入又は流出させるために前記チューブ体に貫通形成された孔部と、を有し、前記センサの前記計測部位は、前記孔部より基端側に配置されており、

前記チューブ体の先端には、コイルと、前記コイルの内部に挿入された先端シャフトと、が配置されており、

前記先端側閉塞壁は、前記チューブの前記先端と、前記コイルの基端と、前記シャフトの基端と、を接合していることを特徴とするセンサ付きガイドワイヤ。

【請求項2】

請求項1に記載するセンサ付きガイドワイヤにおいて、

前記先端側閉塞壁は、ロウ材により形成されていることを特徴とするセンサ付きガイドワイヤ。